

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方について理解を深めるとともに、加法及び減法の意味についての理解を深め、もちいることができるようにする。また、乗法の意味を理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにする。</li> <li>・具体物を用いた活動などを通して、長さの単位や測定について理解できるようにし、量の大きさについての感覚を豊かにする。</li> <li>・具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を一層重ね、図形についての感覚を豊かにする。</li> </ul>	
	学期	学習内容・到達目標
前 期	<p><b>ひょうとグラフ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵を見て希望した係ごとにグラフにまとめたり、希望した係の人数を数え表にまとめる。</li> <li>・表やグラフを読み、そのよさについて話し合う。</li> </ul> <p><b>時ごとと時間</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵を見て各場面の時刻を読み、図を見て「時刻」と「時間」の意味の違いを考える。</li> <li>・簡単な場合の時刻や時間を求めたり、1時間＝60分であることを知る。</li> <li>・「午前」と「午後」の意味を知り、ともに12時間あることから1日＝24時間であることをおさえる。</li> </ul> <p><b>たし算のひっ算</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(2位数)＋(2位数)で繰り上がりなしや、繰り上がりありの計算が筆算でできる。</li> <li>・筆算のしかたがわかる。</li> </ul> <p><b>ひき算のひっ算</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(2位数)－(2位数)で、繰り下がりなし・繰り下がりありの計算が筆算でできる。</li> <li>・筆算のしかたがわかる。</li> </ul> <p><b>長さのたんい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ものさしを用いて長さを測ることができ、長さの単位cmとmmを単位として測ることができる。</li> </ul> <p><b>3けたの数</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3位数を位取り板や数カードを使って書いたり読んだりすることができる。</li> </ul> <p><b>水のかさのたんい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かさの測定の意味と単位を理解するとともに、直接比較や間接比較、単位関係がわかる。</li> </ul> <p><b>計算のくふう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加法では、たす順序を変えても答えは同じなることをまとめる。</li> </ul> <p><b>たし算とひき算のひっ算</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題場面から数量の関係をとらえ、立式することができる。</li> </ul>	<p><b>三角形と四角形</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ものの形の観察や構成・分類などの活動を通し、三角形や四角形を弁別したり、作図したりすることができる。</li> <li>○正方形・長方形・直角三角形</li> <li>・ものの形の観察や構成・分類などの活動を通し、正方形や長方形・直角三角形を弁別したり、作図したりすることができる。</li> </ul> <p><b>分けた大きさをあらわそう【分数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正方形の紙を半分に折って切り分け、同じ形であることを確かめる。</li> <li>・二分の一の意味と書き方を知る</li> </ul> <p><b>かけ算(1)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗法の意味を理解するとともに、乗法の答えは、同数累加と同じ答えになることがわかる。</li> </ul> <p><b>かけ算(2)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗法のきまりを用いて、手際よく九九を構成するとともに2の段から9の段、及び1の段の九九を使うことができる。</li> </ul> <p><b>4けたの数</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・十進位取り記数法の仕組みに気づき、数の相対的な大きさをとらえることができる。</li> <li>・4位数の表し方がわかる。</li> </ul> <p><b>長いものの長さのたんい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「メートル(m)」、「センチメートル(cm)」を用いて、長さを表す。</li> </ul> <p><b>たし算とひき算</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題場面とテープ図を対応して読むことができる。</li> <li>・テープ図をよみ取り、加法と減法は逆になっていることを説明できる。</li> <li>・テープ図をよみ取り、立式することができる。</li> </ul> <p><b>はこの形</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ものの形についての観察・構成などの活動を通して、箱の形を構成する要素に着目し、箱の形を作ったり、再構成することができる。</li> </ul> <p><b>2年のまとめ【計算ピラミッド】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計算ピラミッドに取り組み、既習の加減計算の練習をする。</li> </ul> <p><b>2年のふくしゅう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を解決する。</li> </ul>
	後 期	<p><b>ひょうとグラフ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵を見て希望した係ごとにグラフにまとめたり、希望した係の人数を数え表にまとめる。</li> <li>・表やグラフを読み、そのよさについて話し合う。</li> </ul> <p><b>時ごとと時間</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵を見て各場面の時刻を読み、図を見て「時刻」と「時間」の意味の違いを考える。</li> <li>・簡単な場合の時刻や時間を求めたり、1時間＝60分であることを知る。</li> <li>・「午前」と「午後」の意味を知り、ともに12時間あることから1日＝24時間であることをおさえる。</li> </ul> <p><b>たし算のひっ算</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(2位数)＋(2位数)で繰り上がりなしや、繰り上がりありの計算が筆算でできる。</li> <li>・筆算のしかたがわかる。</li> </ul> <p><b>ひき算のひっ算</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(2位数)－(2位数)で、繰り下がりなし・繰り下がりありの計算が筆算でできる。</li> <li>・筆算のしかたがわかる。</li> </ul> <p><b>長さのたんい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ものさしを用いて長さを測ることができ、長さの単位cmとmmを単位として測ることができる。</li> </ul> <p><b>3けたの数</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3位数を位取り板や数カードを使って書いたり読んだりすることができる。</li> </ul> <p><b>水のかさのたんい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かさの測定の意味と単位を理解するとともに、直接比較や間接比較、単位関係がわかる。</li> </ul> <p><b>計算のくふう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加法では、たす順序を変えても答えは同じなることをまとめる。</li> </ul> <p><b>たし算とひき算のひっ算</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題場面から数量の関係をとらえ、立式することができる。</li> </ul>

算数科の評価

・算数科では4つの観点で評価します。

算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解
数量や図形に親しみをもち、それらについて様々な経験をもとにするとともに、知識や技能などを進んで用いようとする。	算数的活動を通して、数学的な処理に親しむ。	整数の計算が確実にでき、それを用いるとともに、ものの大きさを測定したり、ものの形を観察したり構成したりする。	数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方、整数の計算の意味及び量の単位と測定の意味を理解し図形についての理解の基礎となる経験を重ねている。

・次のような方法で見していきます。

発言内容 ノートのまとめ方 プリント 学習態度 練習問題 取り組む様子 作品 テスト 長さの計測

おうちの方へ

ブロックなどの半具体物を使った操作活動を取り入れて、わかる授業をめざします。マス計算やプリントなどを用いて、基礎・基本の定着を図ります。反復練習を大切にするために、算数の宿題は、ほぼ毎日出しますので、ご家庭での協力をお願いします。